

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+daysつくば西平塚校
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日～2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)1(回答者数)0
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日～2025年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)12(回答者数)12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日

○ 分析結果

事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
活動スペースの多さ、余裕のある遊び場	室内には子どもたちの活動スペースが4部屋あり、運動スペース、学習スペースと分けてメリハリをつけられる。	部屋数が多いため、死角が発生しやすいことから遊びの制限せざる得ない場合がある。
室内と屋外でバランスよく活動し、多様な経験ができる	季節や行事に合わせた製作や調理活動を行い、変化を持たせている。お花見や水遊びといった子どもたちが喜ぶイベントを開催している。	活動内容は職員が計画することが多いため、今後は子どもたちが主体的に活動を考えるような機会を作っていききたい。
家族支援	ご相談をいただいた際には、ご家族の思いに寄り添い同じ方向性を向けるように面談等を行っている。必要に応じて本人、ご家族、きょうだい支援を行っている。	保護者会や参観の他にも保護者同士の交流や学びの場を増やして、安心して子育てできる環境整えていきたい。
事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
職員の入れ替わり	大学生PAの就職や、他校へのヘルプ、新しい職員の補充があったため。	保護者様とコミュニケーションを取り、安心して通っていただける務める。
専門職による支援	週に1回作業療法士の直接支援を取り入れているが、こどもたち全員に対する支援はできていない。	必要な人材が確保できるまでは、既存の支援者が研修等を行い支援に活かしていきたい。
非常時の対応について説明が不足	事故防止や感染症対策等のマニュアルはあり、避難訓練も定期的に行っているが、周知に関して不十分だった。	マニュアルや内容については契約時に伝え、避難訓練の様子やマニュアルの改定時にはHUGでお伝えしていく。